

(様式1-表)

令和8年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	28	豊田市立 上鷹見小 学校	代表	白井 亨子
------	----	--------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テーマ	地域とともに歩む学校づくり	分野	b	地域連携
サブテーマ	～地域の人に学び、ふるさとを大切に、ふるさとを愛する子どもの育成を目指して～	(その他)は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点(ねらい)	<p>本校の教育目標を「心豊かにともに学び合い たくましく生きる鷹見っ子の育成」とし、ふるさとを愛し、未来を創造する子どもを育てていく。上高湿地学習会やササユリの保護活動、米作りや炭焼き体験を通し、地域の自然や、地域で生きてきた地域の人に学び、「鷹見の里に生まれてよかった、上鷹見小学校で学んでよかった」という、ふるさとを大切にすることを醸成する。そして、ふるさとを愛する人間として成長し、自立した社会人となるための基礎を育てていく。さらに、小規模校のよさを生かすと共に地域の「人・もの・こと」を生かした教育活動を推進し、子どもが育ち、私たち教職員も共に育つ学校を目指す。校内整備員には、子どもたちが安全・快適に自然観察や体験活動を行えるよう、除草や資材準備の補助等を行っていただく。また、小規模校とはいえ悩みをもった児童がいるため、心の相談員が、教職員とは違う立場で相談に乗ることで、心の安定を図る。</p>			
活動内容・計画	<p>(1) 上高湿地学習会 ・ラムサール条約登録の上高湿地の全校での秋の見学会や高学年の湿地保全作業を通して、地域の残すべき自然に触れ、それを守る人の存在や思いを感じとる。(講師招聘予定) ・秋の学習会では、保護者も参加し、6年生が湿地についてのガイドを行うことで、自分たちの地域の大切な湿地だという思いを強くもつ。</p> <p>(2) 米づくり ・田植え、稲刈り、脱穀などの稲作体験を行う。(講師招聘予定) ・地域講師の方を招き、収穫した米を使って「五平餅をつくる会」(収穫に感謝する会)を行う。</p> <p>(3) 学校ビオトープを核にした自然観察 ・学校ビオトープ(どきどき池、きらきら池、わくわく山等)を中心に、各学年、生活科や理科、総合的な学習の中で学区を流れる一の瀬川など、学校周辺に生息する動植物の観察を行い、自然環境に対する興味関心を高める。 ・上高湿地や学校ビオトープで観察した生き物や学習した内容をまとめ、看板を作成する。 ・子どもたちが安全に自然観察を行うことができるように、校内整備員の協力を得て、山道やビオトープの橋の整備を行う。</p> <p>(4) ササユリ保護活動 ・「ササユリ調査」(6月)を全校で行い、地区ごとにササユリ保護活動(生息数調査等)を行う。 ・環境委員会主催でササユリ集会を行い、開花日の予想、標語の募集等を通して、保護の意識を高める。</p>			
補助員配置	<p>(1) 上高湿地学習会 心の相談員、校内整備員</p> <p>(2) 炭づくり 校内整備員</p> <p>(3) 米づくり 校内整備員</p> <p>(4) 学校ビオトープを核にした自然観察 校内整備員</p> <p>(5) ササユリ保護活動 校内整備員</p> <p>(6) 福祉体験・活動 心の相談員</p>			
実績・期待される効果	<p><実績> ・地域学習や自然に触れ合う活動等から、課題を発見し、追究する力がついている。 ・委員会活動の一環で毎朝ビオトープの手入れを行い、校内整備員の協力で整備等をさせていただくことにより、さまざまな動植物が生息できる環境が保持され、多くの動植物とふれあう中で関心を高めることができています。 ・地域や自然を愛する心を表現した振り返りカードや一行詩を書くことで、豊かな情操が育成されている。 ・上高湿地に関する今後の活動への関心が高まり、地域の未来の姿を考える児童が出てきている。 ・心の相談員が寄り添い、積極的にコミュニケーションを取ってくれるため、児童の心の安定に繋がっている。</p> <p><期待される効果> 「ふるさとを大切に、ふるさとを愛する」気持ち育成され、地域の一員としての自覚が高まる。 ・自然とふれあう体験活動を通し、課題を発見し、追究する力が付き、自分ができることに積極的に取り組む。 ・地域の「人・もの・こと」を生かした体験活動を通し、地域を愛する心が養われる。</p>			
検証方法	<p>・子どもの作文、日記、一行詩 ・学校アドバイザー、区長など地域の方の声</p> <p>・保護者による学校評価 ・ホームページの閲覧状況</p>			